

「にしかわ」は、展示室だけではなく、1・2階を利用しての作品展示も可能です。

～お問い合わせ～

◆にしかわ

☎ 81-0309

◆油木協働支援センター

☎ 82-0701



1月19日(金)から2月7日(水)にかけて、油木高等学校で「美術」と「書道」を履修する3年生による「卒業制作展」が、油木協働支援センター分室「にしかわ」に於いて開催されました。

期間中は、高校生が授業として会場を訪れて作品の鑑賞をしたり、また一般の方も訪れて、展示されている作品の力作ぶりを評価されていました。

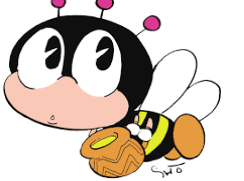
油木高等学校 卒業制作展

ゆきの灯り

第86号

令和6年3月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

生涯学習マスコット：マナビイ



春借月



油木高校生徒の感想 (抜粋)

- 展示空間が違うと作品の印象が変わると思った。
- 小さな町にもいろいろな芸術家がいるんだと感心した。
- みんな個性がありすぎて面白かった。
- 習字以外にもカレンダーの制作とかあって面白かった。
- 初めて卒業制作展を開いてもらって嬉しかった。

- 会場が「にしかわ」だったので近いし、祖母たちも見てくれてよかった。
- 個性を発揮できて、ユニークな作品に仕上げたよかった。
- 美術と書道と一緒に展示できて楽しかった。



Monsieur Yukishige チョコレートレッスンⅡ

2月11日(日)、横山敬重先生の指導で、バレンタインデーに向けての「チョコレート作り」教室を開催しました。

今回は「チョコレートケーキ」で、4グループに分かれて協力して作業を進めていきました。

講師の丁寧な指導で美味しくそうなケーキができて、参加した皆さんも満足そうでした。

今回の教室には町外からを含め11名の方が参加して、楽しい時間を過ごすことができました。



2月のゆきキッズ

2月の「ゆきキッズ」も会場に楽しい声が響きました。2月は「雛祭り」に因んだ内容で活動しました。

■料理教室⑤ (2月17日)
大西智子先生の指導で、雛祭りに因んだ「雛祭り寿司」を作りました。寿司めしをカップに入れて、うすらの玉子で作ったお雛様を飾りました。

■楽描教室④ (2月24日)
若林佐都子先生の指導で、色紙や水彩絵具・色鉛筆等を使用して「雛飾り」を作りました。配色や飾りなどを工夫して、楽しい作品に仕上げました。



「油木の化石」が「御調」で語る

化石魅力化プロジェクトが1月23日(火)に実施した「御調西小学校出前講座」の感想文を紹介します。(抜粋)

- ◆最初は全く見つけれなかったけど、きれいな巻貝の化石を見つけることができ嬉しかったし、とても楽しかったかったです。
- ◆実際に生きていた生き物たちが、何年も経って化石になっていることに驚きました。
- ◆クリーニング体験では、同じ石から違う種類の貝がでてきておもしろかったです。
- ◆化石を初めて見て、とても大きかったし重たかったので驚きました。
- ◆人類が出現する前に、たくさんの生き物や植物が進化を繰り返したことがわかりました。
- ◆恐竜のツメを間近で見ると、とても迫力があり少しこわかったです。
- ◆化石のことは知らないし興味もなかったけど、ていねいに教えてくださって「もっと知りたい」と思いました。
- ◆「今は絶滅してしまった生き物がいる」という実感がわいてきて、化石を見るのが楽しかったです。(御調西小学校6年生)



アートクラブ④

2月19日(月)、若林佐都子先生の指導で、石粉粘土を使って「お雛様」作りを学びました。

今回の教室は、アートクラブ初の立体物制作で、細かな細工や色付け等の作業となり、さまざまな表情をしたお雛様が出来上がりました。

講座終了後には、早くも来年度のアートクラブの内容の話で盛り上がりつつあります。



是非一度「にしかわ化石館」を訪ねてください!

神石高原XRスクールが化石のARスタンプラリーを制作!!

XRとは、「XR（クロスリアリティ）」の略語。VR（仮想現実）、AR（拡張現実）、MR（複合現実）といった先端技術の総称です。（新しい体験を創造する技術を言います。）



昨年4月から神石高原町小畠にあるサテライトオフィスにて仕事をさせていただいております、「株式会社HERE.」の萩原です。

東京本社ではプロジェクションマッピングなどの映像制作を手掛ける一方、神石高原町では主に「XR」を学べるコミュニティスクール「神石高原XRスクール」の運営を担当しています。地域課題を解決する手段としても注目される「XR」を学ぶことで、リアルとデジタルを掛け合わせた新しいコミュニケーションを地域が自発的に作っていきけるようになることを目指しています。

私たちは9月18日（月祝）に仙養ヶ原にて開催した「神石高原XRキャンプフェス2023」に展示するコンテンツのため、9月16日（土）「にしかわ化石館」に受講生10名が訪れて事前学習を行いました。

事前学習では、化石魅力化プロジェクトリーダーの中西正一様から施設の説明や、約1600万

年前の神石高原町についての講義を受けた後、各受講生が化石を1点選び、iPadを使って3Dスキャンをしました。さらに、3Dスキャンしたデータを編集して「AR（拡張現実）」という技術を使用したスタンプラリー「AR化石ハンターズ」を制作しました。

イベント当日は多くのお客様がスマホ片手にティアガルテン広場を巡り、「AR化石」を出現させて化石や地球の歴史について楽しく学んでいました。

これからも「神石高原XRスクール」は「XR」を通じて、神石高原町の魅力を再発見できるようなコンテンツを作っていきますので、ご支援のほどよろしくお願い致します。



～お問い合わせ～ 神石高原XRスクール運営 萩原 (hagiwara@here-we-are.jp)

令和5年度 各事業チームの活動状況 ー後期（～2月）ー

■農商推進部

わくわく農業部会

10/20 軽トラ朝市⑥ 11/17 軽トラ朝市⑥
1/29 協議：活動の方向性

地域農業部会

10/26 有害動物駆除用煙火安全講習会 1/31 協議：活動の方向性

■福祉部

福祉部会

10/06 協議：高齢者在宅支援事業・子ども食堂事業 12/01 子ども食堂事業
12/23 子ども食堂① 1/12 協議：高齢者在宅支援事業・子ども食堂事業
1/21 子ども食堂② 2/18 子ども食堂③

自主防災部会

10/28 ドローン体験（世羅町） 10/31 ドローン体験（神石小学校）
11/15 弁当配達実証実験（～11/17）

■地域づくり部

移住定住部会

2/06 協議：空き家バンク状況・活動の方向性

地域情報部会

12/08 文化財ガイドブック完成（油木地区配布） 1/29 協議：活動の方向性

軽トラ朝市



■ゆきなび（生涯学習部）部会

文芸復興

10/26 視察（庄原市）

化石魅力化

11/08 神石高原中学校地域ふれあい行事 11/20 豊松小学校体験学習
12/25 夢門塾見学

文化イベント

1/23 出前講座（尾道市立御頭西小学校：河内公民館主催事業） 2/15 視察（福山市）
11/24 油木ブロック総合文化祭美術部門（～11/26 共催） 1/25 協議：文化イベント（3/16）

伝統文化伝承

10/31 協議：撮影計画 11/12 上野八幡神社撮影
大人の教室 10/10～ 各教室で事業実施 ゆきキッズ 10/14～ 各教室で事業実施

■専門部会連絡協議会

2/19 協議：各部会の本年度事業進捗・次年度事業計画/予算

上野八幡神社



がんばれ!! 高石快晴君

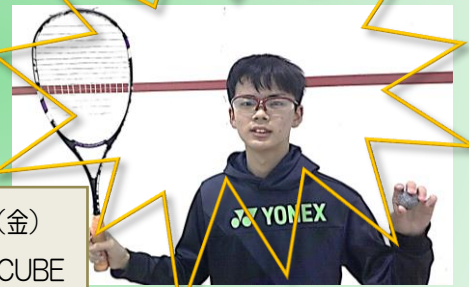
JOCジュニアオリンピックカップ

第28回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会

(Under17男子)

開催期間 令和6年3月27日（水）～29日（金）

大会会場 ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE



『ゆきの灯り』協賛広告募集中! ～どなたでも掲載することができます。～

料金 ○町内の方 1回1500円 ○町外の方 1回3000円

寸法 縦5cm以下×横9cm以下

※お問い合わせ 油木協働支援センター ☎82-0701

ーみんなで子育てー（参考：香川県教育委員会「今こそ家庭教育」）

子育て中に「お互い様」は欠かせません

○子どもが保育所や幼稚園に通い始めると、保護者会やPTAに参加するようになります。最近では煩わしいという理由でそこから遠ざかろうとする保護者が多いと聞きます。しかし、そのような組織があるからこそ、助け合える仲間にも出会えるのです。前向きにとらえて、積極的に参加しましょう。

○地域総がかりで子どもを育てようとする雰囲気各地で見られるようになってきました。子どもの健やかな成長には多くの人が関心を寄せています。子どもの安全の見守り隊、読み聞かせボランティア、子どもの体験活動支援など、本当に層が厚くなりました。そんな地域のまなざしを、ありがたく受け止めましょう。「お世話になります」「ありがとうございます」の感謝の一言が支援して下さる皆さんを前向きに幸せにします。

地域のまなざしを感じましょう

まずは、語り合える仲間づくりが大切である。

悩みや不安は聞いてもらったり、共感してもらったりすることで落ち着くことがある。人の悩みを聞いて、自分と同じであることに気付くことも効果がある。



★地域で子どもを見守り育てましょう（油木協働支援センター）

子育てチェック

- 誰一人同じ子どもはいないので、他者に相談しても仕方ない。
- 地域の人がなぜ見守り活動をしてくれるのか、よく分からない。



ワンポイント・アドバイス

1 子育ての味方はたくさんいます積極的に踏み出しましょう

2 「お互い様」と言える関係をつくりましょうまずは自分から

3 社会の暖かいまなざしを意識しいろんな人と話しましょう